

再評価調査書

事業名	都市計画道路 大阪生駒線整備事業	事業主体	大阪府
所在地	東大阪市元町及び加納地内		
再評価理由	事業採択後10年を経過した時点で継続中		
事業概要	目的	本路線の南側に位置する府道石切大阪線及び国道308号は、慢性的な渋滞を呈しており、本路線を整備することにより、東西方向の交通渋滞の解消を図るものである。	
	内容	延長 0.9km (都市計画道路加納玉串線～一般国道170号)	
		幅員 32m～49m	
		道路区分 第4種第2級 4車線道路	
上位計画	なし		
関連事業	なし		
事業の進捗状況	都市計画決定	昭和21年9月4日 (建設省告示第129号)	
	経過	事業採択年度 (事業認可取得) : 平成3年	
		事業着手年度 : 平成2年	
		完成予定年度 : 平成19年度末	
	進捗状況	全体事業費 : 約94億円 (内用地費 約60億円)	
		投資事業費 : 約20.4億円 (内用地費 約18.8億円)	
進捗率 : 用地 69.4% (面積比) 31.3% (事業費比) 工事 0.0%			
一連の整備効果発現	当該都市計画道路の整備により、周辺渋滞路線の交通量が減少し、渋滞路線沿道住民の生活環境の向上が図れる。		
課題	用地買収の推進 大型物件の移転補償		

事業目的に関する諸状況の社会情勢の変化等	交通量の変化	周辺道路の24時間交通量の推移		
		府道大阪生駒線	府道石切大阪線	国道308号
	平成2年	19,823台/24h	15,982台/24h	42,228台/24h
	平成6年	18,734台/24h	17,812台/24h	43,925台/24h
	平成9年	15,153台/24h	19,174台/24h	48,087台/24h
	道路の状況	周辺道路の混雑度		
		府道大阪生駒線	1.64	
		府道石切大阪線	1.45	
		国道308号	1.47	出典 : 平成9年度 道路交通センサス
	付近の環境の状況	大気の状態 (測定局 : 大東市役所)		
		二酸化窒素	0.055 ppm	環境基準 0.04 ~ 0.06ppm (1日平均値)
		浮遊粒子状物質	0.097 mg/m ³	環境基準 0.10 mg/m ³ 以下 (1日平均値)
				出典 : 平成11年版 大阪府環境白書
	地域の開発状況	東大阪中部土地区画整理事業 (平成6年完了) 都市計画道路加納玉串線から恩智川までの区間は、側道部分が供用済となっている。		

費用 便 益 分 析	具体的な便益内容			受益者	費用便益比	備 考	
		<ul style="list-style-type: none"> 費用便益分析 走行時間の効果（走行時間の短縮） 走行経費の効果（時間短縮による走行経費の節減） 			<ul style="list-style-type: none"> 通行車輛 	<ul style="list-style-type: none"> $B / C = 3.28$ 便益総額 B 〔 検討期間内に発生する全ての便益を価格基準年の 価値に換算した金額 〕 総費用 C 〔 当該計画道路の着手時から検討期間の最終年まで に発生する全ての費用を価格基準年の価値に換算 した金額 〕 	<ul style="list-style-type: none"> 街路事業における費用便益分析マニュアル（案）、（建設省都市局街路課作成）により算出。
事業 効 果 の 定 性 的 評 価 等	大 項 目	小 項 目	効 果 の 指 標 等	具 体 的 な 効 果 等		受 益 者	備 考
	安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 防災空間の確保 災害発生時の緊急輸送路、避難路の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 延焼防止率の向上 避難圏域の拡大（面積） 	<ul style="list-style-type: none"> 道路幅員12m以上のため延焼防止効果が期待できる。 道路幅員が32～49mであるために、災害時の避難路となる（幅員16m以上） 	<ul style="list-style-type: none"> 周辺住民 歩行者 通行車輛 		
	活力	<ul style="list-style-type: none"> 地域づくりの支援 物流の効率化の支援 		<ul style="list-style-type: none"> 恩智川によって分断されている加納地区と元町地区が結ばれ、両地区の交流、連携が図れる。 中小企業が多く集まっている東大阪中部土地区画整理地へのアクセスが容易となり、物流の効率化が図れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 周辺住民 企業 		
	快適性 （生活環境）	<ul style="list-style-type: none"> 良好な環境の形成 	<ul style="list-style-type: none"> SPM NOx CO2 	<ul style="list-style-type: none"> 当該都市計画道路の整備により、周辺渋滞路線の交通量が減少し、騒音、振動等の沿道環境の向上が図れるとともに、大気汚染、地球温暖化の原因となるSPM（粒子状物質）、NOx（窒素酸化物）、CO2（二酸化炭素）の発生量が減少する。 	<ul style="list-style-type: none"> 周辺住民 歩行者 		
	交通円滑化	<ul style="list-style-type: none"> 交通量の減少 混雑状況の緩和 走行時間の短縮 	<ul style="list-style-type: none"> 交通量 混雑度 走行速度 	<ul style="list-style-type: none"> 当該都市計画道路の整備により、その他の路線の交通量の減少混雑度の緩和及び走行時間の短縮が期待される。 	<ul style="list-style-type: none"> 通行車輛 		
自然環境等への 影響と対策	<ul style="list-style-type: none"> 加納地区は、工業専用地域、準工業地域であり自然環境への影響は無いと考えられる。また、元町地区は、現況農地も存在するが、用途の大半が準工業地域であり、自然環境への影響は微小と考えられる。 						
その他 特記すべき 事項	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路加納玉串線から恩智川までの区間は、東大阪中部土地区画整理事業において整備済となっており、側道部分が供用済となっている。 						